

音読への道

1 発音記号を覚えよう

ア. 母音

[æ] 舌の真ん中あたりを少し上げて [ア] と言います。「あー、分かった！」をニヤッと笑いながら言う時の [ア] で、[エア] を早口で言ったときの音を表します。
(apple, happy, hat, map など、単語の中では a という文字がこの音を表します)

[ʌ] 日本語の「ア」とほぼ同じだと思って下さい。
(up, cut, cup, come, some, mother, Monday, country, couple, touch, blood, flood など、単語の中では u, o, ou, oo という綴りがこの音を表します)

[ɑ] 口を大きく開けて「ア」と言ってください。
(park, car, farm, hard などの ar の最初の部分や、アメリカ英語の hot, top など、o という文字がこの音を表します)

[ə] 口をあまり開かず、いいかげんに [ア] と言ってください。
(America, ago, about など、アクセントがこない a などがこの音を表します)

[ɔ:r / ɔr] 舌をのどの奥の方に引き、口をほとんど開けずに声が漏れるのをふさぐように発音します。アメリカやカナダでは er, ir, ur は舌をのどの奥に引いて [ɔ:r / ɔ:r] と発音しますが、イギリスやオーストラリア、ニュージーランドなどでは、舌をのどの奥に引かず、口をあまり開けずに「あー」([ɔ: / ə]) と発音します。
[r] がイタリック (斜体) になっているのは、どちらでも好きな方を選んでくださいという意味です。
(player, teacher, girl, bird, birthday, turn, burn, Thursday, sugar, calendar, work, world, doctor, earth, early, learn, journey, courtesy, bourbon など、er, ir, ur, ar, or, ear, our という綴りがこの音を表します)

[i] 日本語の「イ」とほぼ同じで、「いいねえ！」というときの [イ] です。口の中で、舌がかなり上のほうにあるときの音を表します。
(eat, easy, clean, tree, feel, free, receive, ceiling, either, people, piece, believe, chief, ski, unique, machine, eve, Japanese, theme, study, easy, happy, money, monkey, hockey など、ea, ee, ei, eo, ie, i, e, 語尾の y, 語尾の ey がこの音を表します)

[ɪ] [イ]の口のままで、舌だけを下げ、舌だけを上げて [エ] と試みてみてください。あごを固定し、あごを一切下げないようにして「いいえ」と言った時の [エ] の音を表します。[イ] と [エ] と聞こえます。

(is, it, hit, English, begin, before, between, decide, deliver, degree, return, remember, report, excite, excuse, example, system, mystery, crystal など、i, e, 子音に挟まれた y などがこの音を表します)

[u] 日本語の「ウ」とほぼ同じだと思って下さい。くちびるを丸めて発音します。多くの場合、[u:] (ウー) と伸ばして発音します。

(food, room school, soup, group, coupon, rude, flute, super など、oo, ou, u などがこの音を表します)

[ʊ / u] くちびるを丸めず、あごを下げて [ウ] と試みてください。[オ] に近い [ウ] を表します。hook [hʊk] (かぎ状のもの、釣り針、留め金) は「フック」と聞いた人と「ホック」と聞いた人に分けられました。あごを下げて、口を開けて「フック」と言うと、ホックにも聞こえますね。

(look, foot, good, bush, put, pull, push など、oo と u がこの音を表します)

[e] 日本語の「エ」とほぼ同じだと思って下さい。

(egg, bed, went, head, breakfast, weather, any, many, area など、e, ea, a などがこの音を表します)

[o] あまり口を開けず「オ」と言います。日本語の「オ」とほぼ同じだと思って下さい。英語では [oo] (オウ) という発音でこの音が現れます。

(tone, home, rope, boat, goal, toast, toe, roe, doe, soul, shoulder, snow, low, grow など、o, oa, oe, ou, ow が [oo] という音を表します)

[ɔ] 口を大きく開けて「オ」と言います。アメリカやカナダでは特に口を大きく開けて [オ] と言いますので [ア] に近い音になります。人間は口を大きく開ける時は、縦に広がるだけでなく横にも広がるので、[ア] に近くなるのです。volley [vɒli] (ノーバウンドで打ち返す/蹴り返す) はアメリカでは「バレー」に近く、イギリスでは「ヴォリー」に近い音になります。したがって、アメリカから伝わったスポーツでは「バレー」、イギリスから伝わったサッカーでは「ボレー」と言うのです。

(hot, top, dog, wash, watch, want, quality, quantity, quarrel など、o や w の直後の a, qu の直後の a などがこの音を表します。[ɔ:] と伸ばすものとしては、water, always, already, saw, draw, strawberry, because, automatic, Australia, walk, talk, chalk, taught, daughter, caught, bought, fought, thought など、a, aw, au, al, augh, ough がこの音を表します)

イ. 子音

- [b] 日本語の「ブ」とほぼ同じだと思って下さい。
(単語の中では **b** という文字がこの音を表します)
- [g] 日本語の「グ」とほぼ同じだと思って下さい。
(単語の中では **g** という文字がこの音を表します)
- [d] [ド] ではなく、[ドゥ] ですので、気をつけてください。
(単語の中では **d** という文字がこの音を表します)
- [k] 声帯をふるわせず、ひそひそ声で [ク] と読んでください。
(単語の中では **k, c, ck, ch,** がこの音を表します)
- [h] あまり口を開けず、声帯をふるわせないでひそひそ声で [ハ] と読んでください。
(単語の中では **h** という文字がこの音を表します)
- [l] 舌の先をまっすぐ伸ばして、上の歯のつけ根の近くにつけて声を出してください。
そのままだと「ウ」にも聞こえますが、声を出したまま舌を離すと「ル」に近い音になります。「人々 (people)」は「ピーポー」ではなく、舌先は必ず上の歯のつけ根付近につけて発音します。
(単語の中では **l** という文字がこの音を表します)
- [p] 声帯をふるわせず、ひそひそ声で [プ] と読んでください。
(単語の中では **p** という文字がこの音を表します)
- [r] 舌の裏を相手に見せながら舌を喉の奥の方に引き、口をほとんど開けずに声を出してください。舌先は口蓋こうがい (口の中の上側の壁) にはつけません。
(単語の中では **r** という文字がこの音を表します)
- [t] 声帯をふるわせず、ひそひそ声で [トゥ] と読んでください。
(単語の中では **t** という文字がこの音を表します)
- [θ] 舌を1センチほど歯の間から出して、上の歯と舌の間から声を出さずに息を出してください。
(単語の中では **th** がこの音を表します)

- [ð] 舌を1センチほど歯の間から出して、上の歯と舌を使って「ズ」と言ってみてください。その時の音を表します。
(単語の中では **th** がこの音を表します)
- [f] 上の歯を軽く下唇に当て、声を出さずに息を出してください。
(単語の中では **f, ph** がこの音を表します)
- [v] 上の歯を軽く下唇に当て、声を出して息を出してください。
(単語の中では **v** という文字がこの音を表します)
- [w] 唇を思い切りとがらせて「ウ」と言ってください。口笛を吹く時の形で、唇が震えるぐらい、口を閉じてください。
(単語の中では **w**、または **q** の直後の **u** がこの音を表します)
- [j] 日本語の「ヒ」を発音するときよりさらに舌を上げ、空気があまり通らないようにして「イ」と発音してください。「ユ」に近い音です。
(単語の中では **y** という文字がこの音を表します)
- [ŋ] 舌の先を下におろし、舌ののどに近い奥の方を、口の中の上の部分に当て、鼻から声を出してください。NHKのアナウンサーが「政府が」と言うときは、「が」が「んが」に近い音になりますが、その音を表します。
(単語の中では **sing, long** などの **ng** と、**angry** や **thank** など、**[g]** と **[k]** の直前の **n** がこの音を表します)
- [n] 舌の先を上歯の付け根の近くにつけ、くちびるを少し開けて鼻から声を出して「ン」、または「ンヌ」と言ってください。英語ネイティブの人は **n** を見ると舌先を上歯につけてしまうので、「けんいち、しんいち、じゅんいち」をそれぞれ、「けにち、しにち、じゅにち」と言ってしまいます。「新大阪」は **Shin-Osaka** と書いてハイフンの部分で一度声帯を止めてもらわないと、「しのうさか」と読まれてしまうのです。
(単語の中では **n** という文字がこの音を表します)
- [m] 唇を閉じて鼻から息を抜き、「ン」または「ンム」と言います。
(単語の中では **m** という文字がこの音を表します)
- [s] 声帯をふるわせず、ひそひそ声で [ス] と読んでください。
(単語の中では **s** と **i, e, y** の直前の **c**、そして **i** と **e** の直前の **sc** がこの音を表します)

[ts] 声帯をふるわせず、ひそひそ声で [ツ] と読んでください。
(単語の中では ts がこの音を表します)

[z] 息を出しながら [ズ] と言います。
(単語の中では s, z がこの音を表します)

[dz] 一度息を止めてから [ッツ] と一気に発音します。
(単語の中では ds がこの音を表します)

[ʃ] 声帯をふるわせず、ひそひそ声で [シュ] と読んでください。
(単語の中では sh, ch, ci, ti がこの音を表します。sugar や sure などでは s がこの音を表しています)

[tʃ] 声帯をふるわせず、ひそひそ声で [チュ] と読んでください。
(単語の中では ch, tch がこの音を表します。picture や nature では、tu の部分がこの音を表しています)

[ʒ] 息を出しながら [ジュ] と言います。
(単語の中では usually や casual など、s がこの音を表します)

[dʒ] 一度息を止めてから [ッヂュ] と一気に発音します。
(単語の中では g, j がこの音を表します)

	口大	口中	口小	口横
4 種類の「ア」	[a]	[ʌ]	[ə]	[æ]
	2cm	1cm	5mm	

	舌上	舌下	
2 種類の「イ」	[i]	[ɪ]	※ [e] は日本語と同じ「エ」

	唇超丸震	唇丸	口開
3 種類の「ウ」	[w]	[u]	[ʊ / u]

	口小	口大	
2 種類の「オ」	[o]	[ɔ]	※ [o] は [ou] で出てきます。

2 文字のルール

(1) ローマ字表：基本読み（短母音）

a [æ]	i [ɪ]	u [ʌ]	e [e]	o [ɔ]
ka [kæ]	ki [kɪ]	ku [kʌ]	ke [ke]	ko [kɔ]
sa [sæ / zæ]	si [sɪ / zɪ]	su [sʌ / zʌ]	se [se / ze]	so [sɔ / zɔ]
ta [tæ]	ti [tɪ]	tu [tʌ]	te [te]	to [tɔ]
na [næ]	ni [nɪ]	nu [nʌ]	ne [ne]	no [nɔ]
ha [hæ]	hi [hɪ]	hu [hʌ]	he [he]	ho [hɔ]
ma [mæ]	mi [mɪ]	mu [mʌ]	me [me]	mo [mɔ]
ya [jæ]	yi [jɪ]	yu [jʌ]	ye [je]	yo [jɔ]
ra [ræ]	ri [rɪ]	ru [rʌ]	re [re]	ro [rɔ]
wa [wæ]	wi [wɪ]	wu [wʌ]	we [we]	wo [wɔ]
ga [gæ]	gi [gɪ / dʒɪ]	gu [gʌ]	ge [ge / dʒe]	go [gɔ]
za [zæ]	zi [zɪ]	zu [zʌ]	ze [ze]	zo [zɔ]
da [dæ]	di [dɪ]	du [dʌ]	de [de]	do [dɔ]
ba [bæ]	bi [bɪ]	bu [bʌ]	be [be]	bo [bɔ]
ja [dʒæ]	ji [dʒɪ]	ju [dʒʌ]	je [dʒe]	jo [dʒɔ]
pa [pæ]	pi [pɪ]	pu [pʌ]	pe [pe]	po [pɔ]

ローマ字表に載っていないもの（基本読み）

ca [kæ]	ci [sɪ]	cu [kʌ]	ce [se]	co [kɔ]
fa [fæ]	fi [fɪ]	fu [fʌ]	fe [fe]	fo [fɔ]
la [læ]	li [lɪ]	lu [lʌ]	le [le]	lo [lɔ]
va [væ]	vi [vɪ]	vu [vʌ]	ve [ve]	vo [vɔ]
xa [ksæ / gzæ]	xi [ksɪ / gzɪ]	xu [ksʌ / gzʌ]	xe [kse / gze]	xo [ksɔ / gzɔ]
cha [tʃæ / kæ / ʃæ]	chi [tʃɪ / kɪ / ʃɪ]	chu [tʃʌ / - / ʃʌ]	che [tʃe / ke / ʃe]	cho [tʃɔ / kɔ / -]
—	gui [gɪ]	—	gue [ge]	—
pha [fæ]	phi [fɪ]	phu [fʌ]	phe [fe]	pho [fɔ]
qua [kwæ]	qui [kwɪ]	—	que [kwe]	quo [kwɔ]
sca [skæ]	sci [sɪ]	scu [skʌ]	sce [se]	sco [skɔ]
sha [ʃæ]	shi [ʃɪ]	shu [ʃʌ]	she [ʃe]	sho [ʃɔ]
tha [θæ / ðæ]	thi [θɪ / ðɪ]	thu [θʌ / ðʌ]	the [θe / ðe]	tho [θɔ / ðɔ]
wha [(h)wæ]	whi [(h)wɪ]	—	whe [(h)we]	—
wra [ræ]	wri [rɪ]	wru [rʌ]	wre [re]	wro [rɔ]

(2) ローマ字表：名字読み（長母音）

a [eɪ]	i [aɪ]	u [ju:]	e [i:]	o [oʊ]
ka [keɪ]	ki [kaɪ]	ku [kju:]	ke [ki:]	ko [koʊ]
sa [seɪ / zeɪ]	si [saɪ / zaɪ]	su [sju:/su:/zju:/zu:]	se [si: / zi:]	so [soʊ / zoʊ]
ta [teɪ]	ti [taɪ]	tu [tju:/ tu:/tʃu(:)]	te [ti:]	to [toʊ]
na [neɪ]	ni [naɪ]	nu [nju:]	ne [ni:]	no [noʊ]
ha [heɪ]	hi [haɪ]	hu [hju:]	he [hi:]	ho [hoʊ]
ma [meɪ]	mi [maɪ]	mu [mju:]	me [mi:]	mo [moʊ]
ya [jeɪ]	yi [jaɪ]	yu [ju:]	ye [ji:]	yo [joʊ]
ra [reɪ]	ri [raɪ]	ru [ru:]	re [ri:]	ro [roʊ]
wa [weɪ]	wi [waɪ]	—	we [wi:]	wo [woʊ]
ga [geɪ]	gi [dʒaɪ]	gu [gju:]	ge [dʒi:]	go [goʊ]
za [zeɪ]	zi [zaɪ]	zu [zu:]	ze [zi:]	zo [zoʊ]
da [deɪ]	di [daɪ]	du [d(j)u:/ dʒu(:)]	de [di:]	do [doʊ]
ba [beɪ]	bi [baɪ]	bu [bju:]	be [bi:]	bo [boʊ]
ja [dʒeɪ]	ji [dʒaɪ]	ju [dʒu:]	je [dʒi:]	jo [dʒoʊ]
pa [peɪ]	pi [paɪ]	pu [pju:]	pe [pi:]	po [poʊ]

ローマ字表に載っていないもの（名字読み）

ca [keɪ]	ci [saɪ]	cu [kju:]	ce [si:]	co [kou]
fa [feɪ]	fi [faɪ]	fu [fju:]	fe [fi:]	fo [fou]
la [leɪ]	li [laɪ]	lu [lu:]	le [li:]	lo [lou]
va [veɪ]	vi [vaɪ]	vu [vju:]	ve [vi:]	vo [vou]
xa [kseɪ / gzeɪ]	xi [ksaɪ / gzaɪ]	xu [kfu: / gzu:]	xe [ksi: / gzi:]	xo [ksou / gzou]
cha [tʃeɪ / keɪ / -]	chi [tʃaɪ / kaɪ / -]	chu [- / - / fu:]	che [- / ki: / -]	cho [tʃou / kou / -]
—	gui [gaɪ]	—	gue [gi:]	—
pha [feɪ]	phi [faɪ]	phu [fju:]	phe [fi:]	pho [fou]
qua [kweɪ]	qui [kwaɪ]	— —	que [kwi:]	quo [kwou]
sca [skeɪ]	sci [si]	scu [skju:]	sce [si:]	sco [skou]
sha [ʃeɪ]	shi [ʃaɪ]	(shu) [ʃu:]	she [ʃi:]	sho [ʃou]
tha [θeɪ / ðeɪ]	thi [θaɪ / ðaɪ]	thu [θju:]	the [θi: / ði:]	tho [θou / ðou]
wha [(h)weɪ]	whi [(h)waɪ]	— —	— —	who [hou]
—	wri [raɪ]	—	—	wro [rou]

(3) y の 3 種類の発音

y ① : bicycle, gym, system, mystery, crystal, syrup, cymbal, pyramid, rhythm, cynical

y ② : July, nylon, dynamic, dynamite, hybrid, hydrogen, typhoon, cyborg, tyrant

y ③ : study, happy, easy, lucky, angry, sleepy, heavy, baby, lady, funny, fancy, really

y ④ : by, my, shy, cry, try, fry, fly, sky, sly, spy, dry

y ⑤ : bye, cycle, dye, style, type, rye, byte, Hyde, thyme

① i の基本読みと同じ読み方で、舌を下げて発音する	② i の名字読みと同じ読み方	③ 語尾の y は ea, ee, ei, ie, -ey などと同様、舌を上げて発音する	④ 語尾の y が語中で唯一の母音の場合、i の名字読みと同じ	⑤ 語尾のマジック “e” によって i の名字読みと同じになる
[i] [イ]	[aɪ] [アイ]	[i] [イ]	[aɪ] [アイ]	[aɪ] [アイ]

<テスト>

では、総復習です。以下のカードを見て、基本読みと名字読みを連続して言ってください。例えば、fo ならば [fə / fou]、the ならば、[θe / θi:]、[ðe / ði:] と言ってください。先生が無作為に指す 10 枚のカードを 40 秒以内に言うことができれば合格です。

pa	de	gi	bu	so
ke	hi	fu	lo	na
ro	mu	we	zi	ya
ju	ho	za	te	xi
pi	du	ga	be	jo
da	ce	fo	cy	nu
re	mo	tu	xa	ty
shi	pha	cho	the	whi
wra	qua	sho	gui	chi
she	pho	qui	thu	wha
wro	cre	cli	pri	pro
clu	sca	flu	sto	ple
tru	dri	bla	ste	chro
thru	chri	sche	stra	sce
spli	scra	intru	explo	comple

(4) 母音の3番～7番読み

大／小	①番読み (基本読み)	②番読み (名字読み)
A / a	[æ]	[ei]
E / e	[e]	[i:]
I / i	[I]	[ai]
O / o	[ɔ]	[oʊ]
U / u	[ʌ]	[ju:]
Y / y	[I]	[ai]

大／小	③番読み	④番読み	⑤番読み	⑥番読み	⑦番読み
A / a	[ɔ]	[ɑ:]	[ə]		
E / e	[I]				
I / i	[i:]				
O / o	[ʌ]	[u:]	[ʊ]	[ə]	
U / u	[ʊ]	[u:]	[I]	[ə]	[e]
Y / y	[I]				

(5) その他のルール

ア. 語頭の s

イ. 連続する同じ子音（同じ音）は1回だけ読めばよい

ウ. 連続する同じ子音の直前の母音は基本読み

エ. 語尾の e は原則として読まない -ble -cle -dle -fle -gle -kle -ple -tle -zle

オ. マジック “e” は直前の母音を名字読みにさせる働きがある

カ. 単語の最後が e であり、それがその単語の唯一の母音であるときは、その e は [i:] と発音する

キ. 単語の最後が y であり、それがその単語の唯一の母音であるときは、その y は [ai] と発音する

ク. c は直後に a, u, o, または子音がきている場合は [k]、i, e, y がきているときは [s] と読む

ケ. 語尾の c は [k]、語尾の ce は [s] と読む

コ. 語尾の g は [g]、語尾の ge は [dʒ] と読む

サ. g は直後に a, u, o, または子音がきている場合は [g]、i, e がきているときは [g] または [dʒ]、y がきているときは [dʒ] と読む

- シ. 「ン」は原則として b, p, m の直前は m、それ以外は n で表す
 ス. 語頭の s [s] と読む
 セ. 語頭の su は [ʃu] と読むことがある（〔例〕 sugar, sure）
 ソ. 英語では v で終わる単語はない
 タ. 語尾の en, on, el（アクセントがこない場合）
 チ. 語尾の que は [k] , 語尾の gue は [g] と読むことが多い
 ツ. 語尾の母音 + n, 母音 + l はアクセントがこない場合、その e や o を発音しないことが多い

(6) 特殊編

		①番読み	②番読み	③番読み	④～⑦番読み
1.	ch	[tʃ]	[k]	[ʃ]	
2.	ci	([si])	([sai])	[ʃ]	
3.	ck	[k]			
4.	dge	[dʒ]			
5.	ds	[dz]			
6.	ng	[ŋ]			
7.	ph	[f]			
8.	qu	[kw]			
9.	sc	[sk]	[s]		
10.	sh	[ʃ]			
11.	tch	[tʃ]			
12.	th	[θ]	[ð]		
13.	ti	([ti])	([tai])	[ʃ]	[ʃi]
14.	ts	[ts]			
15.	ai	[eɪ]	[e]		
16.	al	[ɔ:]	[ɔ:l]	[ɑ:]	
17.	au	[ɔ:]			
18.	augh	[ɔ:]	[æf]		
19.	aw	[ɔ:]			
20.	ay	[eɪ]			
21.	ea	[i:]	[e]	[eɪ]	[i(:)ə]
22.	eau	[ju:]	[oʊ]		
23.	ee	[i:]			
24.	ei	[i:]	[eɪ]	[aɪ]	
25.	eo	[i:]			
26.	eu	[ju:]			
27.	ew	[ju:]	[u:]		
28.	ey	[i]	[eɪ]	[aɪ]	
29.	ie	[aɪ]	[i:]		
30.	igh	[aɪ]			
31.	oa	[ou]	[ɔ:]		

32.	oe	[oʊ]	[u:]		
33.	oi	[ɔɪ]			
34.	oo	[u:]	[ʊ]	[ʌ]	
35.	ou	[aʊ]	[ʌ]	[u:]	[oʊ]
36.	ough	[ɔ:]	[ʌf]	[aʊ]	① [oʊ] ⑤[u:] ⑥[ɔf] ⑦[ə]
37.	ow	[aʊ]	[oʊ]		
38.	oy	[ɔɪ]			
39.	ue	[ju:]	[u:]		
40.	ui	[u:]	[u:ɪ]		
41.	uy	[aɪ]			
42.	air	[eə:r]			
43.	ar	[ɑ:r]	[ɔ:r / ɔ:r]	[ə(:)r]	
44.	are	[eər]	[ɑ:r]		
45.	ear	[ɪər]	[eər]	[ə(:)r]	[ɑ:r]
46.	eer	[ɪər]			
47.	er	[ə(:)r]			
48.	ere	[ɪər]	[eər]		
49.	ir	[ə(:)r]			
50.	ire	[aɪər]			
51.	oar	[ɔ:r / ɔ:r]			
52.	oor	[ɔ:r / ɔ:r]	[uər]		
53.	or	[ɔ:r / ɔ:r]	[ə(:)r]		
54.	ore	[ɔ:r / ɔ:r]			
55.	our	[aʊər]	[ɔ:r / ɔ:r]	[ə(:)r]	[ʊər]
56.	ur	[ə(:)r]			
57.	ure	[juər]	[ʊər]		
58.	-ould	[ʊd]			
59.	ous	[əs]			
60.	sio	[ʃə / ʃo]	[ʒə / ʒo]		
61.	ssio	[ʃə / ʃo]			
62.	-tain	[tɪn][tɪn]			
63.	-sure	[ʃər]	[ʒər]	[ʃʊər]	
64.	-ssure	[ʃər]	[ʃʊər]		
65.	-ture	[tʃər]	[tʃʊər]		
66.	view	[vjʊ:]			
67.	-ange	[eɪndʒ]			
68.	-aste	[eɪst]			
69.	-ind	[aɪnd]	[ɪnd]		
70.	-old	[oʊld]			
71.	-age	[ɪdʒ]	[eɪdʒ]		
72.	-tes	[ts]			
73.	-des	[dz]			
74.	kn-	[n]			
75.	-mb	[m]			

76.	-stle	[sl]			
77.	wh-	[(h)w]	[h]		
78.	wr-	[r]			
79.	ps-	[s]			

* **-age** や **-tes** などのハイフン(-)は、それら(**age** や **tes** など)が語尾に来た時の読み方を表しています。

* **kn-**や **wr-**などのハイフン(-)は、それら(**kn** や **wr** など)が語頭に来た時の読み方を表しています。

3 Road to 音読

(1) 個々の単語の発音を知る

ear des di ho o su vic mu to s re su
th t sa rri ff pp tim si ge tu cor ff
qu roy s ble er or s ci th di d er
ake ter ed t ans er o ed ing

earthquake, destroy, disaster, horrible, offered, support, victims, musicians, together, studio, recorded, suffering

(2) 音の連結、消滅、崩れを知る

①連結ルール

子音で終わる語の直後に母音で始まる語がくる場合： _____ $\underbrace{\text{子音} + \text{母音}}_{\text{つながる}}$ _____

英単語はアクセントが来る部分は強くゆっくり読みますが、それ以外の部分は比較的弱く早く発音することが多く、語尾があまり聞こえないこともあります。しかし、英語を母語とする人たちは、例えば語尾に **n, t, d, l** があるときは、それらの音はあまり目立たなくとも、舌先をきちんと上の歯の裏付近につけています。

したがって、次に母音で始まる語が来たときは、意識していなくても自然に音がつながります。英語の聞き取りが苦手な人は、この「音の連結」を理解できていないのが大きな要因となっています。「語尾をいい加減に発音せず、ていねいに発音する！」というのが、英語らしい音を作り、なおかつ聞き取りが強くなるコツです。

〔例〕 That's a good idea. [ðæt̩sə góudaɪd̩iə] それはいい考えですね。

The people are from India. [ðəpɪːplər frəmɪndiə] その方々はインド出身です。

② r 母音ルール

r(e)で終わる語の直後に母音で始まる語がくる場合：
 $\text{r(e)} + \text{母音}$
つながる

teacher、doctor、year、air、store、our など、語尾が [ər] や [ɔr] で終わる場合、アメリカやカナダの人は舌を喉の奥のほうに引いて r の音を出します。したがって、その直後の単語が母音で始まる時、自然に音がつながって r の音が聞こえます。

イギリス、オーストラリア、ニュージーランドなどでは、語尾の [ər] や [ɔr] は舌を前方の下の方（発話していない時の舌の自然な位置）においたままで発音しますので、where も [wéər] ではなく [wéə] と発音します。しかし、直後に母音で始まる語がくるときは突然 r の音が復活し、where is は [wéəɪz] ではなく [wéərɪz] となります。これは、wear [wéə] + ing [ɪŋ] = wearing [wéərɪŋ] や、hear [híə] + ing [ɪŋ] = hearing [híərɪŋ]、floor [flóːr] + ing [ɪŋ] = flooring [flóːrɪŋ]でも同様に見られる現象です。

〔例〕 far away [fáːrəweɪ] はるか遠くに

for example [fəɪŋzæmpl] 例えば

③ n 母音ルール

n(e)で終わる語の直後に母音で始まる語がくる場合：
 $\text{n(e)} + \text{母音}$
つながる

英語では、n という文字が出たら、舌の先を上歯のつけ根付近につけて、鼻から声を出して [n] と発音します。その状態で舌先を上歯のつけ根付近から離すと、「ヌ」になります。つまり、n は「ンヌ」と発音するのです。n で終わる語の直後に母音で始まる語が来る場合は、自然に音がつながって「ナ行」の音が聞こえます。松 (pine) かさのような形をしてリンゴ (apple) のように甘酸っぱい果物を、pineapple [paɪnæpl] と言いますね。

〔例〕 can you [kʌnju:] あなたは～できますか／～してくれますか
in a/n hour [ɪnənáʊər] 1時間後に
There i/s a/n apple i/n it. [ðeəri zənáɪp lɪnt] その中にはリンゴが1つ入っている。

英語を母国語とする人は、よく「けんいち君」や「しんいち君」の発音に苦労します。なぜなら n 母音ルールで「けんいち=けにち」「しんいち=しにち」になってしまうからなのです。なお、下線部は音が連結することを意味しています。

④ちっちゃな“ッ”ルール

破裂音 (b, p, d, t, g, k) の子音で終わる語の直後に子音で始まる語がくる場合：

_____ 破裂音 + 子音 _____

発音の構えはするが、破裂せずに次の単語を発音する ↗

eat (食べる)、read (読む)、like (気に入っている)、hug (抱きしめる)、stop (止める)、grab (つかむ) などは、単語の最後が [t], [d], [k], [g], [p], [b] という、口の中に息をためてから一気に破裂して発音する音で終わっています。英語を母語とする人は語尾の破裂音をとでも弱く発音するので、聞こえないことがよくあります。これらの単語の直後にくる単語が同じような破裂音で始まるときは、前の単語の最後の破裂音は発音しないことすらあります。この時、英語を母語とする人は声帯の動きを一瞬止めますので、“ッ”が入っているように聞こえます。下の例では、声帯を止めるところを“↘”という休符で表しています。発音しなくても発音する口の構えは完全にできています

- 〔例〕 **read** books [ri:↘ búks] 読書する
 〔例〕 **eat** dinner [i:↘ dínər] 晩ご飯を食べる
 〔例〕 **play** tennis [pléi téis] テニスをする
 played tennis [pléi↘ téis] テニスをした

⑤“トゥルドウルヌル”ルール

[tl], [dl], [nl] は舌先を上歯の付け根につけたまま一気に発音する。

[tl], [dl], [nl] で終わる語は、舌先を上歯の裏付近につけたまま、舌の横から息を出

して発音することがよくあるので、それらの部分が「トゥー」や「ドゥー」、「ヌー」のように聞こえます。アクセントが来ていない、語尾の *tle, dle, tal, dal, tol, dol, tel, del, nel, nal* の部分でよくこの現象が見られます。(nal は直前が無声音化した *tio, sio* の場合は[nəl])

- [例] *little* [lɪtl] 小さい、少ない → 「リルー」と聞こえる
medal [médl] メダル → 「メドゥー」と聞こえる
tunnel [tʌnl] トンネル → 「タヌー」と聞こえる
definitely [dɛfɪnɪtli] 明確に、はっきりと → 「デフィニッリー」と聞こえる
at last [ət læst] 最後に → 「アッラストゥ」と聞こえる

⑥連続同子音省略ルール

子音で終わる語の直後に同じ子音で始まる語がくる場合： _____子音 + 子音_____
1回しか発音しない

2つの連続する単語で、最初の単語の語尾と続く単語の語頭が同じ音の場合（破裂音を除く）、一度しか発音しません。また、最初の単語の語尾が *ve* で続く単語が *f* や *ph* の場合、語尾の *ve* が弱く発音されて *f* のようになった時もこの現象が起きます。

なお、*He's sick.* [hi:z sɪk]（彼は病気です）のように、[z]で終わる語の直後に[s]で始まる語が来る場合、[z]が聞こえなかったり、下線部が合体して「ツ」のように聞こえ、全体で「ヒーツィク」のように聞こえることがあります。

- [例] *convenience stor*e [kɒnvɪ:niənsɔ:r] コンビニエンスストア
have free time [hæfri:táɪm] 自由時間がある
with thin noodles [wɪθɪnu:dlz] 細麺を使って

さらに驚いたことに、*st, xt* などで[st]という音で終わる語の直後に *st* で始まる語が来る時は、語頭の *st* が直前の[st]と合体してしまい、[st]は一度しか発音されません。

- [例] *first step* [fɜ:rstɛp] 第一歩
must stop [mʌstɔp] 止まらなければならない、やめないといけない
next street [nekstri:t] 次の街路
Tom must stay with them. [tɒməstɛrɪwɪðəm] トムは彼らと一緒に泊まらな
いけない。

⑦タダラルール

アクセントが来ないタ行は、日本語の「ダ行」や「ラ行」の発音になる。

聞き取りのコツ①～⑥は、英語らしい発音をするためには必要なものですので、皆さんも常に実行するよう心がけてください。ここからは、皆さんが真似をしなくてもよい、「英語ネイティブの人が素早く発音したり、だらしなく発音したときに見られる現象」を紹介します。ゆっくり丁寧に読んでいる時は、これらのルールは当てはまりません。

まずは、タダラルール。アクセントがこないタ行の音は、いい加減に発音されるのでなまってダ行になり、もつとなまると日本語のラ行と全く同じ音になります。ラ行、ダ行は、タ行と同じく上の歯の付け根よりも少し奥の方に舌先をつけて発音しますので、この現象が起こるようです。

【例】 **Yes, it is.** [jésidíz] はい、そうです。

lettuce [lédas] レタス

get up [gédáp] 起きる、立ち上がる

※ **【タ】** がなまったら **【ダ】** や **【ラ】** になりますが、この **【ラ】** は l や r の発音ではなく、日本語の **【ラ】** と同じ音です。舌先を上歯の付け根より 1～2 cm ほど喉のほうにずらしたところに当てて発音します。真似をしたい人は、[lélas] と発音しないよう、注意してください。それを避けるためには、[lédas] でとどめるのがコツ。ダ行で読むとネイティブに近くなりますよ！

⑧ h 消滅ルール

子音で終わる語の直後に、強く読まない「h で始まる語」（前置詞、冠詞、接続詞など）がくる場合：
_____子音 + h 母音_____
h を発音せず、子音と母音がつながる（①の連結ルール）

h で始まる語は、早口で言うとその h が発音されないことがあります。明治の頃、西洋の犬のことを「カメヤ」と呼んだそうです。これは英米人が犬を呼ぶときに、Come here. [kám híər]（こっちへおいで）と言っていたのが、h の音が脱落し、[kámíər] と発音していたからです。h の直後は母音ですので h が脱落すると直前の単語の語尾と連結します。

- 〔例〕 I like **him**. [aɪ laɪ kɪm] 私は彼が好きだ。
 I like **her**. [aɪ laɪ kəʳ] 私は彼女が好きだ。
must have [mʌstəv] 持っていなければならない、～したに違いない

また、the や they などが弱く読まれて th の部分がほとんど聞き取れなくなったり、them の th が省略されて綴りが変わったりすることがあります。

- 〔例〕 Pick **them** up. → Pick 'em up. [pɪkəmʌp] それらを拾い上げる／つまみ上げる

⑨ NTD ルール

n の直後に t か d がくる場合： nt や nd
 その t と d は発音しないことがある

[n] のうしろに [t] や [d]、[t t] という音が続く場合、その [t] や [d]、[t t] を読まないことがよくあります。ただし、皆さんがこれを真似する必要はありません。

よく知られたものでは、数字の 20 を意味する **twenty** [twɛnti] があります。n のうしろの t を読まず、まるで **tweny** [twɛni] のように発音します。

wanted [wɔ́ntɪd] は「望んだ、ほしかった」という意味で、want to ～は「～することを望む、～したい」という意味です。wanted は t を読まずに **waned** [wɔ́nɪd] のように発音しますし、want to [wɔ́ntə] は 2 つの t を読まず、wan o [wɔ́nə] と発音されることが多く、くだけた文章の中では **wanna** と綴られることもあります。英語の歌ではよく見られる綴りですので、探してみてください。

- 〔例〕 **center** [sɛnəʳ] センター、中央
international [ɪnəʳnɛʃənl] 国際的な
gentlemen [dʒɛnlmɛn] 紳士
Toronto [təʳɔ́nou] トロント（カナダの大都市）
hundred [hʌ́nrɛd] 百
sandwich [sɛ́nwɪtʃ] サンドイッチ

このルールはアクセントが来るときは適用されませんので、例えば **seventeen** は [sevntí:n] というふうに、n の直後の t はしっかりと発音されます。

⑩ “トウンドウン” ルール

n の直前に “t + 母音字” か “d + 母音字” がくる場合：

___ t 母音字 n ___ や ___ d 母音字 n ___
その t 母音字と d 母音字を発音しないことがある

“母音 l”、“母音 n” で終わる語は、そこにアクセントが来ていない場合その母音は発音しないことが多く、語尾の ten, tin, ton, tain, tton, den, don などは [tn], [dn] となります。そしてその [t], [d] は発音せず、息と声を 0.5 秒ぐらい止めてから、「ッン」と発音することがよくあります。下の例では、声帯の動きを止める部分を四分休符で表しています。

- [例] **mountain** [máun] n 山
captain [ká:p] n キャプテン、船長
curtain [kú:r] n カーテン
certainly [sá:r] nli 確かに
button [bá] n ボタン
cotton [kó] n 綿、コットン
garden [gá:r] n 庭園
pardon [pá:r] n 許し、許す
didn't [di] n ~しなかった ※語尾の t は④や⑧が当てはまりよく聞こえません。

(3) ネイティブ真似音読の意味を知る

会話では、内容語である名詞、動詞、形容詞、副詞、疑問詞などが強く高く読まれますので、それらを聞き取ると会話のアウトラインが見えてきます。

一方で、前置詞、冠詞、代名詞、接続詞、関係詞などは弱く読まれます。これらは母音で始まるものが多く、直前の語と連結して、①連結ルール、② r 母音ルール、③ n 母音ルールの現象が起こるのです。これが、聞き取りを阻害する最大の要因となっています。

* 母音で始まる前置詞：

at, about, above, as, after, along, across, among, around, in, into, on, of, over, under など

* 母音で始まる代名詞：

I, it, its, our, us, ours

* 語頭の h が脱落した結果、母音で始まる代名詞

he, his, him, her, hers, himself, herself

* 語頭の th が弱くなったり脱落したりした結果、母音で始まる代名詞

they, their, them, theirs, themselves

* 半母音で始まり、直前の語と連結する代名詞

you, your, yours, yourself, yourselves

* 母音で始まる冠詞

a, an

* 母音で始まる接続詞

and, or, after, if, as, until, unless など

さらにこれらの語が連続することも多く、on us は③ n 母音ルールで「オナス」、over it は② r 母音ルールで「オウヴァリッ」、at a は⑦タダラルールで「アラ」、at the は④ちっちゃな“ッ”ルールで「アッダ／アダ」、in about a は⑦タダラルール「イナバラ」、and as he は⑨ NTD ルールと⑧ h 消滅ルールで「アナズィー」と聞こえます。

ネイティブ・イングリッシュ・スピーカーたちは、これらが無意識のうちにやっています。これを知らず我流で発音していると、ネイティブとは違う音を何度も練習することになり、間違った発音を自分の耳にたたき込んでしまうことになります。そうするとリスニングをしてもネイティブの発音を聞き取ることができず、スクリプトを見た瞬間に「えー、こんな（簡単な）こと言ってたの！」と言ってしまいます。リスニングの力を伸ばすためには、英文を聞いたあとでその意味を理解し、さらに①～⑩のどのルールが当てはまっていたかを確認した上で、ネイティブの真似をして音読をすることが大切なのです。

ただし、皆さんが会話をするときは、「音の連結、崩れ、消滅のルール」の⑦～⑩はやる必要はありません。⑦～⑩は早口になったときの音の崩れと消滅だからです。①～⑥は絶対ネイティブはやってしまうので、皆さんも常に心がけてください。

- | |
|--|
| ①連結ルール (people <u>are</u>) |
| ② r 母音ルール (wonder + <u>ing</u>) |
| ③ n 母音ルール (<u>can</u> you, <u>in</u> it) |
| ④ちっちゃな“ッ”ルール (eat <u>dinner</u>) |
| ⑤ “トゥルドゥルヌル”ルール (<u>little</u> , <u>medal</u> , <u>tunnel</u>) |
| ⑥連続同子音省略ルール (first <u>step</u> , must <u>stop</u> , next <u>stage</u> , convenience <u>store</u>) |
| ⑦タダラルール (<u>lettuce</u>) |
| ⑧ h 消滅ルール (like <u>him</u> , pick <u>them</u> up) |
| ⑨ NTD ルール (<u>twenty</u> , <u>hundred</u>) |
| ⑩ “トゥンドウン”ルール (<u>written</u> , <u>garden</u>) |

では、ここで問題。「テイカネーッガウロヴァバスケッ(トゥ)」とはどういう意味でしょうか。

正解は、「かごが数個あるでしょ。その中の 1 つから卵を 1 個取ってくれるかな」という意味の **Take an egg out of a basket.** です。全て中 1 レベルの単語ですが、①連結ルール、③ n 母音ルール、⑦タダラルールが当てはまり、このような発音になるのです。

Take a/n e/gg out o/f a basket.

① ③ ① ①⑦ ①

その音を真似て練習し、耳と脳が覚えてこそ、ネイティブが同様に発音した時に脳が反応するようになるのです。

「メクサイリラバウ」なら、**I'm excited about** だな、「レクサイリラバウ」なら、**are excited about** や **were excited about** だな、「ゼクサイリラバウ」なら、**she's excited about** や **Tom's excited about** などだな、「ネクサイリラバウ」なら、**been excited about** だな、と脳が瞬時に判断するようになるためには、その音を脳の引き出しの中に入れておかないといけないのです。それが真似音読の目的です。

自分はどうしてもネイティブのような発音ができない、あるいはネイティブと同じスピードで口を動かすことができないという人は、その音を何度も聞いて脳に覚えさせると、ちゃんと反応できるようになりますよ。

また、いきなりシャドーイングは口が動かない可能性がありますので、まずは①～⑩のルールに気をつけて、ゆっくり読んでみます。そして、徐々に早くしていき、さらに意味を考えながら **Read & Look Up** (1 文ずつ心の中で読み、覚えたと思ったら上を向いて暗唱してみるという活動) をし、口が英文を覚えたならシャドーイングにチャレンジしてみましょう。

(4) ストレスとピッチ、イントネーションを確認する

次のページの文章を読み、「この単語を強く高く読めば意味が通じる」という語 (名詞、動詞、形容詞、副詞、疑問詞) を○で囲んでください。

〔例〕 **Now** I'm going to **talk** about my **family** .

Now (今)、talk (話す)、family (家族) の 3 語が聞こえれば、「あ、今から家族について話すんだな」と予想ができますね。

なお、a/t となっている部分は本来 at ですが、のちほどの活動のためにスラッシュ (/) で区切っています。

On January 12th, 2010, a huge earthquake hit Haiti. Many houses were destroyed and a lot of people were buried alive. It was a disaster which killed a large number of people. When this horrible news travel around all over the world, people offer**ed** their support for the earthquake's victims.

Three weeks after the earthquake, more than 80 musicians got together a/t a studio in Los Angeles. They recorded a song called "We Are the World" **25** for Haiti" to aid people who were suffering from the disaster. As the title of the song shows, its root dates back 25 years.

(5) 区切りを入れる

上の文章の中で、息継ぎをするとするとどこでしますか。スラッシュ（/）を入れてください。

(6) 音の連結、崩れ、消滅を確認する

上の文章の中で、p.25 の枠内の①～⑥のルールがどの部分に当てはまるかを見抜き、①～⑥の丸番号を打ってください。

(7) これらのことを全て頭に入れた上で音読する